

青梅信用金庫の環境への取組みについて

【環境理念】

青梅信用金庫は、創業の精神である共存同栄の主旨に則り、自然に恵まれたこの地域の環境を守り、地域の産業と文化の発展に寄与し、人々の豊かな暮らしの実現のために、全役職員で環境保全活動に取り組んでまいります。

【環境方針】

- 環境に関する法令等を遵守し、環境保全活動に取り組みます。
- 役職員全員の環境問題への意識向上に努めます。
- 環境保全に積極的に取り組んでいるお客様を支援するために金融サービスや環境に関する情報提供に努めます。
- 環境への負荷の軽減を目指し、省資源・省エネルギー対策の推進に努めます。
- 環境問題に対する取組みについて、ディスクローチャー誌、ホームページ等を通じて、一般に公表し地域社会との環境コミュニケーションの確立に努めます。
- 美しい多摩川フォーラムを通じ、環境に配慮した地域づくりの旗振り役として、地域貢献活動に積極的に参画します。

【具体的な取組み】

1. 節電対策

地球温暖化防止に対応するため、クールビズ・ウォームビズを実施しています。また、全支店、本部において空調機の温度設定や間引き照明など数々の節電施策を実施しています。

2. 環境に配慮した店舗づくり

川越支店は、環境に配慮した店舗となっています。

- 太陽光発電システム（ソーラーパネル）を設置し店内の電力の一部を賄っており、ロビーには太陽光発電の状況がわかるモニターを設置しております。



- ロビーを吹き抜けにして自然光を採り入れています。
- 窓ガラスの一部に断熱効果のあるペアガラスを使っています。

3. 電気自動車・ハイブリットカーの導入

平成11年より環境にやさしい車として、ハイブリッドカーの導入を行ってきました。平成24年4月には二酸化炭素や窒素化合物の排出がない電気自動車を導入し夜間充電することで、さらに地球環境に配慮した営業活動を目指しています。



4. 美しい多摩川フォーラムを通じた環境活動の実施

平成19年7月の美しい多摩川フォーラム設立以来、事務局として活動を共にし、多摩川を共有財産として環境活動を行っております。

○環境問題への取り組みは、身近な水辺の実態調査からと考え、毎年6月に源流から河口まで、多摩川一斉水質調査を行い、健康な川づくりに努めるとともに、調査レポートを発行しております。地域の子どもたちも参加し、健全な水環境を次代に繋げる活動を行っております。



○毎年11月をクリーンキャンペーン月間と定め、流域自治体、企業、市民の連携によるゴミ清掃活動として「美しい多摩川クリーンキャンペーン」を平成21年より実施し、多摩川水系のきれいな水辺を維持する活動を行っております。



○近年、豊かな水の源でもある森林の荒廃が進む中、健全な森づくりを目的に、「美しい多摩川フォーラム・御岳の森」を開設し、親子で炭火焼体験と水辺の交流会に参加するなど、毎年環境学習を行っております。また、「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」では、植樹や下刈りなどの森林体験を通して環境保全活動に取り組んでおります。

